

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第6号

令和5年10月2日

中学生のみなさんへ

キャリア教育部

2学期も1か月が経ちました。生活は充実していますか。今回は論語の英訳文、現代語訳を紹介します。「**何で学んでいるの？**」「**それは自分のために学んでいるのだ。**」ということを感じてもらえたら嬉しいです。

読んでいくと分からないことが多々あると思いますが、調べてみてください。調べながら理解すると頭の中によく残るという経験をしてみましょう。学び方の一つです。

まずは、論語とは・・・、孔子とは・・・を調べて、論語に何が書かれているのかを調べてみましょう。

論語 書き下し文

子曰く、^して^いわく、^まな^らず^に時^に之^を習^う、亦^た説^ばし^から^ずや、

朋^{とも}あり遠^{とほ}方^{かた}より来^{きた}る、亦^た楽^{たの}し^から^ずや、

人^{ひと}知^しら^ずし^てい^きどお^らず、亦^た君^{くん}子^しな^らず^や、と

英訳文（英語が好きな人は英語で感じ取りましょう）

Confucius said, "To learn and review those you learned are pleasure.

To see a friend from far is a joy.

Not to have a grudge even if you are not appreciated by others.

It is gentlemanly.

現代語訳

孔子がおっしゃいました。

「学んだことを時に復習するのはより理解が深まり楽しいことだ。友人が遠くから訪れてくれて学問について話し合うのは喜ばしいことだ。他人に理解されなくとも気にしないと言うのはとても立派な事だ。」

解説（論語名言集 村山吉廣著 永岡書店より）

最初の部分は、「学問をして、それを折あるごとに復習するのは、何と楽しいことではないか」という意味です。**学問は本来「会得」するもの**で、どんな偉い先生から教えてもらっても、すぐに身につくものではない。また、一旦理解したように思っても、それが程度の浅いものであったり、時には、自分の主観で間違えて覚えてしまっていたりすることがある。

それが**復習を重ね、たえず思いかえしているうちに、いつしか深い理解に到達し**、思わず「これだ」と悟る時がやってくる。言ってみれば、**学問も**スポーツや芸事と同じく、頭で覚えるものではなく**「体」で覚えるもの**なのである。

第二の部分について、今と違って情報の伝達が容易でなかった時代だから、旧友の来訪はいわゆる「旧交を温める」喜びだけでなく、**自分にとって他から学問的啓発を受けるありがたい機会**ともなる。遠方からわざわざ訪ねて来てくれたことは、いまだ往年のよしみを持ち続けてくれている証拠であり、自分が孤独でなかったことを改めて教えてくれることでもある。これを孔子は「人生の快事」として「**楽しからずや**」と言っているのである。

第三の部分について、世間の「**毀誉褒貶**」というものは無責任なものである。「石が流れて木の葉が沈む」という俗言があるように、道理がさかさまになり、「悪人が栄えて、善人が亡ぶ」こともまれではない。だから正直を踏んでいたらとって世に受け入れられるとは限らない。孔子も生涯、何度も誤解されて、生死の関頭に立たされているし、失脚して失意の人となってもいる。

しかし、**学問にしても人格の修養にしても、本来、自分のためにするもの**であり、他人のためにするものではない。他人の評価をいちいち気に病むような気弱な性格では、こういうものに志す資格はない。

「英雄、英雄を知る」ということわざがあるが、世間にはどこかに真におのれを知ってくれる人がいるものなのである。世間の自分に対する評価は当てにならない。そうしたものは二の次、三の次である。人にとって肝心なのは、**信念を持ってあくまでも自分に忠実に生きる**ことである。孔子はこれを「人知らずして、いきどおらず、亦た君子ならずや」と、短い言葉で小気味よくズバリと言いつけている。

さて、難しかったかな。難しいとって逃げずに、避けずに読むことが重要だと考えます。時間がかかっても調べれば内容は理解できます。調べてもよく理解できないことはたくさんあります。特に、みんなが生きていく社会はどうなるのか分かりません。未来予想はいろいろとありますが、その通りにはならないでしょう。変化するのは確実ですが、変化が変化を生み、予想外のことが多々生まれながら発展していきます。

このような変化に対応するのに必要な力は何でしょうか。答えはありませんが、その力を身に付けるのに重要なのが**学び方**です。**分からない未知なものに対して、他人から教えてもらおうと考えるのではなく、自分で調べて、情報を得て、他人の知識も借りて、学んでいき、理解していくという学び**をしていくことで必要な力がついていくと思うのです。

いかがでしょうか。答えは1人1人違っていいのです。自分なりの学び方を創って、未知なものを理解していく力をつけましょう。それが新しいものを創る原動力になると思います。

新しい価値観を創って生きていこう！